

にっぽん子育て応援団 2018 年度活動報告

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

1 重点活動目標の設定

- ・2015 年 4 月「子ども・子育て支援新制度」が本格スタートした。2012 年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。
- ・2019 年度に結成 10 周年を迎えるに当たり、今一度原点に立ち返り、社会全体で子どもと子育てを応援する機運の醸成とともに財源確保とその方策、望ましい保障と負担のあり方などについて、国会議員や有識者、支援者、当事者とともに学び、考える機会を積極的につくっていくこととしたい。

- ・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにっぽん子育て応援団のアピール」

1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしくみを

2 啓発活動

- ・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,065,426 (2019 年 3 月 31 日現在) (2018 年 4 月 1 日現在 1,053,265)

	30 年度初頭数値	30 年度 3 月 31 日現在
個人サポーター宣言	4701 人	5099 人
企業・団体サポーター	37 社	42 社
NPO・市民団体サポーター	269 団体	285 団体
自治体首長サポーター登録	33 人	33 人

3 調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査

全国 5 カ所でのヒアリングおよび 5 回の地域人材交流研修会を行い、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表した。

4 情報提供・交流活動

(1) 勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

結成 9 周年フォーラム、地域まるごとケア・プロジェクト 2018 年度報告会、企業・団体サポーター交流会のほか、今年度は地域まるごとケア・プロジェクトの地域人材交流研修会も都内で開催した。(地域まるごとケア・プロジェクト関連のものは、プロジェクトの報告の中で後述)

- ・結成 9 周年記念フォーラム「大変だ！子どもの未来が崩れそう第 2 弾
本気で子どもと家族を支えるためにできること」

2018 年 5 月 20 日(日) 13:30～16:30

東京家政大学板橋キャンパス 120 周年記念館多目的ホール

参加者 100 名 保育 12 名

◇スペシャルトーク◇「子ども・子育て支援の20年」

奥山千鶴子 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
にっぽん子育て応援団企画委員

聞き手

榎原智子さん 読売新聞社調査研究本部主任研究員

◇パネルディスカッション1◇

「子どもとの暮らしを支える、ひと、箱、まなざし」

「女性活躍の視点からみた企業の役割」

矢島洋子さん 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 共生社会部長

「少子化対策、定住政策としての子ども・子育て支援」保育料も給食費も全額補助

河村文夫さん 奥多摩町長

「乳幼児の学びと育ち、保護者をも支える環境としての保育の質」

工藤佳代子さん 東京家政大学ナースリールーム主任保育士

コメンテーター

奥山千鶴子 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
にっぽん子育て応援団企画委員

コーディネーター

榎原智子さん 読売新聞社調査研究本部主任研究員

◇パネルディスカッション2◇

「すべての子どもの未来を拓く政策を実現させよう」

パネリスト 公明党衆議院議員 古屋範子さん

立憲民主党衆議院議員 岡本あき子さん

コーディネーター 樋口恵子 にっぽん子育て応援団団長

東京家政大学女性未来研究所所長

勝間和代 にっぽん子育て応援団団長

・企業・団体サポーター交流会「働き方改革とダイバーシティ・マネジメント」

2019年2月12日(火)17:00~19:00 キリン株式会社本社会議室

参加者:67名

開会挨拶:藤川 宏さん キリン株式会社執行役員人事総務部長

勝間 和代 にっぽん子育て応援団団長

行政レクチャー:尾田 進さん 厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課課長

基調講演:「イクボスが働き方と社会を変える」

安藤 哲也 にっぽん子育て応援団団長

パネルディスカッション:「働き方も社会も変えるダイバーシティ・マネジメント」

藤川 宏さん キリン株式会社執行役員人事総務部長

安藤 哲也 にっぽん子育て応援団団長 NPO 法人ファザーリングジャパン理事長

岩田喜美枝 にっぽん子育て応援団企画委員 キリンホールディングス株式会社社外取締役

山田 正人 にっぽん子育て応援団企画委員 育休取得経験者

コーディネーター:勝間 和代 にっぽん子育て応援団団長 経済評論家

(2)メールマガジンの発行

毎月1回発行

(3)サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、勉強会報告などを逐次紹介した。

(4)「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらった。

(5) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催した。

5 政策提言活動

5月にフォーラムを開催し、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行った。

(再掲) 結成 9 周年記念フォーラム「大変だ！子どもの未来が崩れそう第 2 弾
本気で子どもと家族を支えるためにできること」

2018 年 5 月 20 日(日)13:30～16:30
東京家政大学板橋キャンパス 120 周年記念館多目的ホール
参加者 100 名 保育 12 名

- ◇スペシャルトーク◇「子ども・子育て支援の 20 年」
- ◇パネルディスカッション 1◇
「子どもとの暮らしを支える、ひと、箱、まなざし」
- ◇パネルディスカッション 2◇
「すべての子どもの未来を拓く政策を実現させよう」

6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行った。

・今年度実績：11 月 19 日 北本市 子育て応援職員育成研修 事務局 松田妙子

7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。2018 年度から 2020 年度までの 3 カ年、全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及に向けた活動を行う。

- ・2018 年度の実施結果
- ヒアリング 北海道千歳市 10 月 30 日、31 日
- 岩手県陸前高田市 10 月 1 日、2 日
- 埼玉県越谷市 11 月 27 日
- 京都府亀岡市 9 月 24 日、25 日
- 新潟県上越市 11 月 14 日、15 日

人材交流研修会

宮城県気仙沼市「地域まるごとで支えよう おらほの宝(たがら)」
9 月 30 日(日)13:30～16:30 気仙沼市市民福祉センターやすらぎ 多目的ホール
話題提供者:近藤和子さん 大船渡市防災・観光支援センター 元大船渡市社会福祉協議会
熊谷涼美枝さん 面瀬川ふれあい農園 面瀬地区民生委員児童委員
松田妙子 につぼん子育て応援団事務局 NPO 法人せたがや子育てネット代表理事
ファシリテーター:松田妙子 につぼん子育て応援団事務局 NPO 法人せたがや子育てネット代表理事
協力団体:一般社団法人プレーワーカーズ
後援:気仙沼市 気仙沼市教育委員会 気仙沼市社会福祉協議会
参加者数:36 名 保育:2 名

東京都墨田区「誰もが気軽に立ち寄れる 地域みんなの居場所をつくろう」
12 月 8 日(土)9:30～12:30 すみだ生涯学習センター マスターホール
話題提供者:近藤博子さん きまぐれ八百屋だんだん店主

岸田玲子さん 墨田区民生委員児童委員
莊司美幸さん すみだ食堂飲食店の会
林 潤子さん うめわか高齢者支援総合センター高齢者支援課長
ファシリテーター: 莊司美幸さん NPO 法人すみだすくすくネットワーク代表
協力団体: NPO 法人すみだすくすくネットワーク
後援: 墨田区
参加者数: 25名 保育: 3名

石川県白山市「私たちの手で支え合う 0～100歳の 地域まるごとケアのまちづくり」
11月13日(火)13:30～16:30 白山市福祉ふれあいセンター 2階大会議室
話題提供者: 中 恵美さん 金沢市地域包括支援センターとびうめ施設長、
厚生労働省地域共生社会地域力強化検討委員会委員)
岡村 俊哉さん 社会福祉法人佛子園常務理事
嶋 栄一さん 千代野地区社会福祉協議会会長
三国外喜男さん 千代野地区社会福祉協議会常務理事
川上 由枝さん 認定 NPO 法人おやこの広場あさがお事務局長
ファシリテーター: 神林俊一さん 一般社団法人プレーワーカーズ理事
協力団体: 認定 NPO 法人おやこの広場あさがお
後援: 石川県 公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団 白山市 白山市社会福祉協議会
参加者数: 120名 保育: 1名

大阪府富田林市「今日からはじめる 大家族のように居心地のよい 地域づくり」
10月23日(火)13:30～16:30 富田林市すばるホール多目的室
話題提供者: 溝口 敏則さん 金剛地区自治会事務局長
木全 剛司さん 金剛銀座街商店会会長 美容室エメールヘア代表
佐々木直樹さん 地域包括支援センターけあばる金剛
坂口 公一さん 富田林市まちづくり推進課
廣崎 祥子さん NPO 法人ふらっとスペース金剛代表理事
ファシリテーター: 岡本 聡子さん NPO 法人ふらっとスペース金剛相談役
協力団体: NPO 法人ふらっとスペース金剛
後援: 富田林市
参加者数: 37名 保育: 7名

福岡県大野城市「地域でどう支える 育児と介護の同時進行＝ダブルケア」
11月30日(金)13:30～16:30 大野城心のふるさと館
話題提供者: 東 恵子さん 一般社団法人ダブルケアサポート代表
辻 良孝さん 大野城市長寿社会部長寿社会課係長
合原佳登理さん 大野城市社会福祉協議会事務局長
古賀 聖子さん ダブルケア当事者 大野城市民
堺 玲奈さん NPO 法人チャイルドケアセンター
奥野 哲也さん アップルハート大野城ケアプランセンター主任介護支援専門員
ファシリテーター: 東 恵子さん 一般社団法人ダブルケアサポート代表
協力団体: NPO 法人チャイルドケアセンター
後援: 福岡県、福岡県社会福祉協議会、大野城市、大野城市社会福祉協議会
参加者数: 89名 保育: 7名

2018年度地域まるごとケア・プロジェクト地域包括および子育て世代包括ケア先進自治体調査と地域人材交流研修会開催報告書の作成と報告会などでの配布

2018年度地域包括ケア・プロジェクト報告会「暮らしの中で育ちあう 命を守るコミュニティ」
2019年2月17日(日)13:30～16:30 日比谷図書文化館コンベンションホール(大ホール)
参加者数: 80名
開会挨拶: 清水肇子 公益財団法人さわやか福祉財団理事長
基調講演: 「赤ちゃんから高齢者まで 誰一人として孤立させないまちづくり
豊中 CSW の活動から」

勝部麗子さん 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長
報告と提言:「日々の暮らしで育ちあう 命を守るコミュニティづくり」
神林俊一さん 一般社団法人プレーリーダーズ理事
木全剛司さん 富田林市金剛銀座街商店会会長 美容室エメールヘア代表
細谷早苗さん 上越市健康福祉部高齢者支援課課長
コメンテーター:勝部麗子さん 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長
ナビゲーター:につぼん子育て応援団プロジェクトメンバー
青木八重子、山田麗子、當間紀子
閉会挨拶:柳澤正義 につぼん子育て応援団企画委員

2018年度地域まるごとケア・プロジェクト報告書の作成と配布

8 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催した。

9 後援名義使用イベントなど

- ・2018年9月7日(金)、8日(土)、広島市総合福祉センターにて開催
ファザーリング全国フォーラム in ひろしま 主催:ファザーリング全国フォーラム in ひろしま実行委員会
(NPO 法人ファザーリング・ジャパン、NPO 法人ファザーリング・ジャパン中国、公益財団法人ひろしま夢財団、
一般社団法人パパフレンド協会、広島県、広島市)
- ・2018年11月30日(金)、12月1日(土)、岡山県
日本子ども虐待防止学会第24回学術集会おかやま大会プログラム・抄録集掲載の意見広告に団体として賛同。
(2017年度は掲載されたが、2018年度は法人格名付の団体が掲載される年だったので、掲載されていない。)

につぼん子育て応援団 平成30年度会計報告(案)

(H30年4月1日～H31年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,050,000	1,090,000	1,060,000	0	40,000
2. 賛同金収入	200,000	225,795	225,795	0	25,795
3. 民間助成金収入	0	0	0	0	0
4. 講師派遣収入	300,000	131,111	131,111	0	-168,889
5. 寄付金収入	100,000	100,000	100,000	0	0
6. 事業受託費	7,803,872	7,803,992	0	7,803,992	120
7. 受託事業進行管理収入	836,680	836,680	0	836,680	0
8. 資料代収入	200,000	228,300	228,300	0	28,300
9. 雑収入	10,000	168,070	168,070	0	158,070
10. 借入金	0	0	0	0	0
当期収入小計 (A)	10,500,552	10,583,948	1,913,276	8,640,672	83,396
前年度繰越金(B)	3,655,421	3,655,421	3,655,421	0	0
収入合計(A)+(B)	14,155,973	14,239,369	5,568,697	8,640,672	83,396

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	350,000	390,420	390,420	0	-40,420
2. 人件費支出	1,700,000	1,972,460	1,972,460	0	-272,460
3. 謝金	100,000	110,000	110,000	0	-10,000
4. 交通費	192,000	278,054	278,054	0	-86,054
5. 会議費	16,000	25,768	25,768	0	-9,768
6. 通信運搬費	100,000	114,504	114,504	0	-14,504
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	50,000	23,194	23,194	0	26,806
9. 事務消耗品費	50,000	118,175	118,175	0	-68,175
10. 備品費	0	0	0	0	0
11. 助成金事業費	0	0	0	0	0
12. 受託事業費	8,640,672	3,879,387	0	3,879,387	4,761,285
13. 支払手数料	5,000	13,366	13,366	0	-8,366
14. 雑費	10,000	27,650	27,650	0	-17,650
15. 業務委託費	200,000	29,340	29,340	0	170,660
16. 10周年記念特別費	750,000	158,200	158,200	0	591,800
17. 借入金返済	0	900,000	900,000	0	-900,000
18. 予備費	10,000	0	0	0	10,000
19. 未払金	0	1,086,655	0	1,086,655	-1,086,655
当期支出小計 (C)	12,173,672	9,127,173	4,161,131	4,966,042	3,046,499
当期収支差額(A)-(C)	-1,673,120	1,456,775	-2,247,855	3,674,630	3,129,895
次期繰越収支差額 (D)	1,982,301	5,112,196	1,407,566	3,674,630	3,213,291

【監査報告】

上記会計報告書類に関して、令和3年5月16日に監査を行ったところ、帳票類もそろっており、相違ないこと承認します。

監事

牧野カツコ



監事

鶴見架絵子



にっぽん子ども・子育て応援団 2019 年度活動計画

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

1 10 周年記念事業と重点活動目標

・2009 年 5 月に活動をスタートさせて以来、2019 年 5 月で丸 10 年を迎える。これまでの活動を振り返り、さらに推進していくため、10 周年フォーラムをはじめ、10 周年記念事業を行う。

・未来をよくする子育て環境のアイデア募集
一般募集したアイデアから選りすぐりを 10 周年記念誌および 10 周年フォーラムで発表

・10 周年記念誌の発行と配布
にっぽん子ども・子育て応援団および関係各位の「決意表明」

・10 周年記念フォーラムの開催
わが国の子ども・子育てを、「もっと、みんなで なんとかしたい！」
平成から令和へ。元号だけでなく、にっぽんの子ども・子育て事情も大きく変えて行きたい。その方向性を指し示すべく、4 つの異なる視点の分科会で、参加者と語り合いながら探っていく。

・重点活動目標を力強く進めていくための改名。
にっぽん子ども・子育て応援団

「にっぽん子ども・子育て応援団の目標」
すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにっぽん子ども・子育て応援団のアピール」
1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしるしを

2 啓発活動

・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,065,021 (2019 年 1 月 31 日現在) (2018 年 3 月 31 日現在 1,053,265)

Facebook での広報、イベント告知にかなりの効果が認められるので、Facebook ページの充実も行う。

	2018 年度 3 月 31 日現在数値	2019 年度末目標値
個人サポーター宣言	5099 人	6000 人
企業・団体サポーター	42 社(44 社)	50 社
NPO・市民団体サポーター	285 団体	290 団体
自治体首長サポーター登録	33 人	40 人

3 調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査

全国 5 カ所でのヒアリングを行い、全国 5 カ所で地域人材交流研修会を開催し、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表する。

参議院選挙にともなう子ども・子育て支援政党に関する政党アンケート

7 月ごろ投票の参議院選挙に向けて、各政党に子ども・子育て支援政策に関するアンケートを実施、得られた回

答を、にっぽん子育て応援団公式サイトにアップ、公開する。

4 情報提供・交流活動

(1)勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏 3カ所で開催する。

うち 1回は企業・団体サポーター向け講座(企業・団体サポーター交流会)とする。

(2)メールマガジンの発行

毎月1回発行

(3)サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

(4)「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(5)調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

5 政策提言活動

・年に2回(5月および11月ごろ)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。

6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。2015年度～2017年度の第1期を終了、2018年度～2020年度の第2期を受託。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及、地域保健福祉に子ども・子育ての視点を盛り込むよう各方面に働きかける活動を行う。

・2019年度の実施予定

ヒアリング 北海道当別町 青森県八戸市 富山県南砺市 広島県福山市
長崎県佐世保市

人材交流研修会 北海道札幌市 東京都練馬区 岡山県総社市 大分県豊後高田市
茨城県水戸市 7月5日

・2019年度地域まるごとケア・プロジェクト報告会

日時:2020年2月開催を予定

8 いきがい・助け合いサミット in 大阪

・さわやか福祉財団からの委託事業。54のテーマによる分科会を通じて、全国から集まった第一線の実践家などによる、共生社会を作る地域包括ケア、生活を支えあう仕組みと実践のシェアと交流。18分科会「子どもと高齢者の交流会や助け合いをどう広げるか」の企画・運営を受託。

日時:2019年9月10日(火)9:00～11:00

場所:大阪府立国際会議場 グランキューブ大阪(大阪市北区中ノ島 5-3-5)

9 その他の活動

- ・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催する。

にっぽん子育て応援団 2019年度収支予算書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【収入の部】

単位 (円)

科目	予算	一般会計	特別会計	収入内訳
1. 会費収入	1,050,000	150,000		(団長&企画委員) @10,000円×15人 150,000
		150,000		(自治体首長新規&継続) @10000円×15人 150,000
		150,000		(企業・団体新規) @50,000円×3社 150,000
		400,000		(企業・団体継続) @50,000円×8社 400,000
		60,000		(企業・団体継続) @30,000円×2社 60,000
		140,000		(企業・団体継続) @20,000円×7社 140,000
2. 賛同金収入	100,000	100,000	0	(個人) @1,000円×200人 200,000
3. 民間助成金収入	0	0	0	
4. 講師派遣事業収入	300,000	300,000	0	目標額
5. 寄付金収入	100,000	100,000	0	
6. 事業受託費	7,373,408	0	7,373,408	さわやか福祉財団受託事業見積(地域まるごと&サミット)
7. 受託事業進行管理収入	976,800	0	976,800	さわやか福祉財団受託事業見積
8. 資料代収入	200,000	200,000	0	春・秋フォーラム
9. 雑収入	10,000	10,000	0	
当期収入小計 (A)	10,110,208	1,760,000	8,350,208	
前年度繰越金(B)	5,112,196	5,112,196	0	(内、2009年度借入金30万円を含む)
収入合計(A)+(B)	15,222,404	6,872,196	8,350,208	

【支出の部】

科目	予算	一般会計	特別会計	支出内訳
1. 借料・損料	350,000	350,000	0	事務所家賃(@20,000円×12ヶ月+年間登録料)+会議室使用料ほか
2. 人件費支出	2,040,000	2,040,000	0	事務局・アルバイト人件費 @ (150,000円+10000円×2)×12ヶ月
3. 謝金	200,000	200,000	0	講師謝金
4. 交通費	246,960	246,960	0	事務局交通費 (14580+6000)×12ヶ月
5. 会議費	20,000	20,000	0	茶菓・弁当代
6. 通信運搬費	100,000	100,000	0	電話代・郵送・メール/宅配便・サーバー・運搬費
7. 制作費	0	0	0	HP制作費、ロゴマーク商品製作費
8. 印刷製本費	50,000	50,000	0	コピー・リンググラフ・印刷費(パンフレット・封筒)
9. 事務消耗品費	50,000	50,000	0	用紙、プリンタインク・文具等
10. 備品費	0	0	0	
11. 助成事業費	0	0	0	
12. 受託事業費	8,350,208	0	8,350,208	さわやか福祉財団受託事業(地域まるごと&サミット)
13. 支払手数料	5,000	5,000	0	振込み手数料
14. 雑費	10,000	10,000	0	
15. 業務委託費	200,000	200,000	0	HP管理関連 @20,000円×12ヶ月+サーバーレンタル料
16. 10周年記念事業	800,000	800,000		
17. 予備費	10,000	10,000	0	
当期支出小計 (C)	12,432,168	3,271,960	8,350,208	
収支差額 (A)-(C)	2,790,236	(1,511,960)	0	
次期繰越収支差額 (D)	7,902,432	3,600,236	0	

にっぽん子育て応援団の運営体制について

1. 団長について

団長は、樋口恵子団長、堀田力団長、安藤哲也団長、勝間和代団長の4名体制とする。

2 企画委員について

渥美雅子：弁護士

◎安藤哲也：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

奥山千鶴子：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

◎勝間和代：経済評論家

倉田 薫：前池田市長

神津里季生：日本労働組合総連合会会長

小室淑恵：株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長

林 文子：横浜市長

◎樋口恵子：NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長・東京家政大学名誉教授
女性未来研究所所長

◎堀田 力：公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士

棕野美智子：松山大学特任教授

村木厚子：津田塾大学総合政策学部客員教授

柳澤正義：独立行政法人成育医療研究センター名誉総長・小児科医

山田正人：「経産省の山田課長補佐、ただ今育休中」著者

吉田恒雄：認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長

◎は応援団長（共同代表）

3. 運営委員について

奥山千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長)

* 鶴見 梨絵子(日本労働組合総連合会総合政策局・生活福祉局)

高祖 常子(認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)

有馬 正史(認定NPO法人さわやか青少年センター理事長)

* 牧野カツコ(NPO法人高齢社会をよくする女性の会)

高橋 伸夫(NPO法人ファザーリング・ジャパン)

山田 麗子(「遊育」編集長)

* は監事

4. 事務局体制について

當間 紀子 主に企画・広報と渉外および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

青木八重子 主に会計業務および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

小原 聖子 主にホームページ・ブログ管理等の業務を担当

5. 運営体制について

- 「役員」とは、団長、企画委員、運営委員を指し、この中から事務局長と監事を選出する。
- 役員総会は、原則年1回開催し、応援団の活動の基本的事項(規約改定、事業計画、予算、事業報告、決算、役員の選任等)について審議する。
- 団長・企画会議は、年4回開催し、子育て応援団の活動の方向性について審議する。
- 運営委員会は、毎月1回開催し、各種事業の企画運営その他について審議する。
 - * 運営委員会メンバーは、団長、企画委員、運営委員、事務局とする。
 - * 応援団の機動的運営のため、各種事業の企画運営及び日常の業務運営については、事業計画等で決められた範囲において、運営委員会が決定できることとする。
- 年度途中で事業計画を変更する必要がある場合は、原則として団長・企画会議に諮り、事後に役員総会で報告することとする。

にっぽん子育て応援団 第10回 総会議事録

日時：2019年5月19日（日）11時～12時

場所：津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス SA305 講義室

出席：樋口団長、堀田団長、安藤団長、勝間団長

企画委員 岩田委員、奥山委員、小室委員、村木委員

柳澤委員、山田委員、吉田委員

運営委員 有馬委員、高祖委員、高橋委員、鶴見委員

牧野委員、山田委員

定塚さん、度山さん、中井さん

委任状提出：渥美委員、神津委員、林委員

事務局：松田、小原、青木、當間、成ヶ澤、堀田

六、開会のことば

これから第10回にっぽん子育て応援団総会を始める。

七、議長選出

全員の推挙により、有馬正史委員を議長に選出。

八、議事

① 30年度活動報告について

別紙資料の通り事務局から報告。

昨年度は、10周年に向けた事業を立ち上げ、粛々と準備を行う一方、周年フォーラム、企業・団体サポーター交流会などを開催、さわやか福祉財団から「地域まるごとケア・プロジェクト」第2期を委託され、スタートした。啓発普及活動では、公式サイトよりもFacebookがイベント告知などに効果的な傾向が出てきたことなども報告、全会一致で承認した。

② 30年度会計報告について

会計担当の青木より、応援団設立時からの借入金の返済に関する説明があり、融通した5名の企画委員のうち3名には全額返済、残り2名の借入金を預かっていると報告があった。

別紙資料を元に会計監査を務めた牧野委員から報告とともに、講評。

「必要な帳票は全て揃っており、報告に相違ないことを確認した」

全会一致で会計報告を承認した。

③ 2019年度活動計画について

別紙資料の通り事務局から計画説明があり、今年度は設立10周年にあたり、昨年度から準備を進めてきた10周年記念誌の発行と記念フォーラムの開催、さらに、さわやか福祉財団から委託の「地域まるごとケア・プロジェクト」第2期の2年目となること、9月9日・10日に大阪で開催されるさわやか福祉財団主催の「生きがい・助け合いサミ

ット」の第18分科会の企画運営を受託したことを共有、全会一致で承認した。

④ 2019年度予算案について

別紙の通り事務局から予算案説明。

2019年度は10周年記念事業の2年目となり、記念事業予算の多くを今年度消化すること、さわやか福祉財団からの委託事業「地域まるごとケア・プロジェクト」第2期2年目となり、今年度分の事業費金額については先方の承認待ちであることが報告され、予算案を全会一致で承認した。

⑤ 団体名称変更に伴う規約改定について

10周年記念事業の一つとして、さらに活動の幅を広げていくために、団体名称を「にっぽん子ども・子育て応援団」と変更するのに伴い、規約第1条に記載の名称を改定、附則に（規約の改定）として、「この規約は、令和元年5月19日より施行する。」の1行を追加することが提案され、全会一致で採択した。

⑥ 2019年度、運営体制について

別紙の通り事務局から説明があり、岩田喜美枝委員が今総会をもって退任、後任に小室淑恵さんが就任することが報告され、全会一致で承認した。

⑦ その他

退任する岩田委員、新たに就任する小室委員から、それぞれ退任、就任の挨拶があり、岩田委員に感謝の花束が贈られた。

九、 閉会のことば

以上をもって、第9回にっぽん子育て応援団総会を閉会する。